

What's New

小型MCライン用集中クーラント装置販売 2017年3月8日掲載



【本文】ユーベック（名古屋市千種区、植田修司社長、052・761・2728）は、量産加工ラインのクーラント装置を一元化する「集中クーラント装置」を開発、発売した。クーラント液やポンプの保守管理負担を軽減できる。消費税抜きの価格は、個々の回収タンクを含め工作機械が10台の場合で1000万円程度。小型マシンセンター（MC）でノアルミニウム部品量産ラインなどに年間10台の販売を目指す。

生産ラインの個々の工作機械に同装置からクーラント液をポンプで供給する。排出された仕様済みのクーラント液は別のポンプで回収し、フィルター装置で洗浄して再利用する仕組み。

MC、旋盤、研削盤など各種工作機械に対応。接続台数や設置スペースにあわせて専用設計する。工作機械ごとにクーラント装置を付ける従来手法と比較して、工作機械が10台以上なら割安になるという。フィルターはろ過精度が20ミクロン（マイクロは100万分の1）の精密タイプを採用した。フィルター交換は3～5年に1回程度で済む。浮上油対策として、チップコンベアに浮上油の回収機能も持たせた。